

# 議会活動日誌

- 1月**
  - 14日 議会だより編集委員会
  - 16日 議会だより編集委員会
  - 20日 議会だより編集委員会
  - 26日 議会活性化特別委員会
  - 29日 交通環境対策特別委員会
- 2月**
  - 3日 基地対策特別委員会視察（横田基地）
  - 12日 正副議長、交通環境対策特別委員会正副委員長が、町と連名で都やJRなどへ要望書を提出
  - 19日 羽村・瑞穂地区学校給食組合議会定例会
  - 20日 東京たま広域資源循環組合議会定例会
  - 23日 西多摩衛生組合議会定例会
    - 議会運営委員会
  - 24日 瑞穂斎場組合議会定例会
    - 福生病院組合議会定例会
  - 25日 議会活性化特別委員会
  - 25日 議会運営委員会
- 3月**
  - 4日 本会議
  - 5日 本会議
  - 6日 本会議
    - 全員協議会
  - 9日 総務常任委員会
    - 総務常任委員会視察（生ごみ等堆肥化施設）
  - 11日 産業建設常任委員会
  - 12日 厚生文教常任委員会
  - 16日 予算特別委員会
  - 17日 予算特別委員会
  - 18日 予算特別委員会
  - 19日 議会運営委員会
  - 24日 本会議
    - 全員協議会
  - 30日 議会だより編集委員会



2月12日 都庁（建設局）での要望

## 議会傍聴にお越しください。

- |                   |                      |
|-------------------|----------------------|
| <b>5月臨時会（予定）</b>  | <b>6月定例会（予定）</b>     |
| 5月 1日（金） 議会運営委員会  | 5月25日（月） 議会運営委員会     |
| 8日（金） 本会議（議案審議ほか） | 6月 3日（水） 本会議（一般質問）   |
|                   | 4日（木） 本会議（一般質問・議案審議） |
|                   | 5日（金） 本会議（一般質問・議案審議） |
|                   | 8日（月） 総務常任委員会        |
|                   | 9日（火） 産業建設常任委員会      |
|                   | 10日（水） 厚生文教常任委員会     |
|                   | 12日（金） 議会運営委員会       |
|                   | 16日（火） 本会議（議案審議）     |

6月定例会における請願、陳情の受付締め切り日は、5月20日（水）になります。

■お問い合わせ 議会事務局 TEL 557-7693（直通）

## 町の雇用対策と雇用創出の取り組みを問う



小川 龍美 議員（公明）

町長 雇用悪化に備え、十分検討

**質問** 未曾有の経済危機の中、会社の倒産、企業のリストラは更に進み、失業者は増加の一途をたどっている。このような雇用情勢の悪化に対応するため、国は20年度補正予算、



町内にある不耕作地

21年度予算に雇用対策費を盛り込み、雇用の確保、雇用創出を目指している。自治体が地域の雇用を迅速に創出できるように基金を創設し、206のモデル事業例を発表した。町も

国の財源を活用し、町の実情に応じた雇用対策・雇用創出を推進すべきと考えるが、町長 国の創設した雇用対策交付金を活用して、新規雇用につながる、実施可能で有効な事業を検討するよう指示した。現在、ブランド開発、プレミアム商品券、不

耕作地のリフレッシュ事業などが考えられるが、実施期間が短いことや実施要件もあり、課題も多い。いずれにしても、十分検討し、雇用悪化に備えたい。

こんな質問もありました  
長岡コミセンに図書室・学習室の設置を。  
町長 作成中の基本設計に導入している。  
妊婦健診14回を無料に。  
町長 実施に向けて準備中。

## 福祉の充実を求めて

大坪 国広 議員（共産）

町長 医療保険制度は相互扶助の精神が基本

**質問** 政府は構造改革の名の下に、14年度から社会保障費を毎年削減してきた。その結果、医療、年金、介護、生活保護などの制度が次々と改悪され、町の福祉の後退にもつながっている。次の3点について町長の所見を伺う。  
**問①** 中学3年生まで医療費無料化の早期実施を都に求め、通院200円も助成するべきと思うが。  
**町長** 医療保険制度は相互扶助の精神が基本であり、一部負担をお願いしたい。  
**問②** 保育園の待機児童の現状と対策は。  
**町長** 2月26日現在で、新年度の待機児童は約20人。対策としては、民間保育園には、定員を超えての入所を、町内4カ所の認証保育所に



殿ヶ谷地区の認証保育所

は、待機児の優先的な入所をお願いしている。  
**問③** 非課税の高齢者に対する保険料・利用料の独自軽減策を検討するべきと思うが。  
**町長** 今回の介護保険条例の改正により、住民税が非課税の方へさらなる負担軽減を行う。また、利用料の独自軽減については考えていない。